

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子工業高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成 31年 4月 26日
------	-----------	-----	---------------

1 学校目標	
<p>1 工業高校生らしいエチケット・マナーと心身の健全な育成</p> <p>2 キャリア教育の充実と学力向上による進路実現</p> <p>3 ものづくり人材の育成</p> <p>4 開かれた学校づくり</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>1 専門的資格取得を奨励し、ジュニアマイスター取得者を増加させる。</p> <p>2 インターンシップや県内外の企業見学を通して、専門的な技術・技能に触れ、職業観の育成を図り、将来の進路選択に一層明確な目標を持たせる。</p> <p>3 将来の地域産業を担う人材を育成するため、高校生ものづくりコンテストや各種大会への参加を奨励し、技術・技能の向上を図る。</p> <p><数値目標></p> <p>1 ジュニアマイスター取得者12名以上。</p> <p>2 学校アンケートで以下の集約結果が全体のそれぞれ80%以上。</p> <p>(1) 生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」</p> <p>(2) 生徒対象「研修旅行は勉強になったし、充実していた」</p> <p>(3) 保護者対象「本校は、企業見学、研修旅行、インターンシップ等が充実している」</p> <p>3 学校アンケートで以下の集約結果が全体の80%以上。</p> <p>(1) 生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」</p>	<p>1 独自事業予算を活用して資格取得を奨励し、多くの生徒が資格を取得した結果、ジュニアマイスター取得者が大幅に増加した。</p> <p>2 2学年におけるインターンシップや1,2学年における県内外の企業見学を実施した結果、進路選択に明確な目標を持たせることができた。</p> <p>3 独自事業予算を活用して各種大会への参加を奨励し、技術・技能の向上を図ることができた。</p> <p><数値結果></p> <p>1 ジュニアマイスター取得者 ゴールド3名、シルバー19名、計22名(参考:ブロンズ21名 本年度より設定)</p> <p>2 学校アンケート結果</p> <p>(1) 生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」96.8%</p> <p>(2) 生徒対象「研修旅行は勉強になったし、充実していた」99.5%</p> <p>(3) 保護者対象「本校は、企業見学、研修旅行、インターンシップ等が充実している」97.7%</p> <p>3 学校アンケート結果</p> <p>(1) 生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」97.7%</p>

3 実施事業

【高等学校課事業】

1 土曜授業等実施事業

(1) 第二種電気工事の技能試験に向けて、高度熟練技術者を社会人講師として招聘し、実技講習会を実施。

2 外部人材活用事業（社会人講師活用事業）

(1) 環境への配慮のために様々な施設・設備に導入が進むLEDについて、その活用例や照射角、消費電力といった素子の特性に係る講義を実施。

(2) 高品質の音はどうやって作られるのか、音の性質や聴覚の性質、音の制御技術に係る講義を実施。

3 鳥取県版キャリア教育推進事業

(1) 就職や進学に至った経緯、在学中に努力したことや考えなど、先輩に学ぶ。(1年)

(2) " (2年)

【独自事業】

1 専門的資格取得の推進

(1) 機械加工（普通旋盤作業）と電気工事の資格取得の学習活動を支援。

2 インターンシップ・県内企業研修・県外企業研修の充実

(1) 職業人として心構えを学び、専門的な技術・技能に触れるインターンシップを充実。

(2) 将来の進路目標を明確にする一助となるよう企業研修を充実させた。

3 ものづくり事業の充実

(1) 高校生ものづくりコンテストの上位入賞に向けて学習活動を支援。

(2) 最先端を走る企業視察等とおして、技能オリンピック出場を目指す人財づくりを推進。

(3) 各種大会への出場を目指す学習活動・課題研究への取組みを支援。

(4) 自然再生エネルギーの活用を模索。研究する環境エネルギー科の学習活動がさらに充実するよう支援。

4 総合所見（成果・評価）

学校独自事業予算の「専門的資格取得の推進」事業を活用し、機械加工技能士（普通旋盤作業）と電気工事士の資格取得を推進し、3名が機械加工技能士（普通旋盤3級）、71名が電気工事士第2種、4名が同第1種を取得した。この他、多くの生徒が資格に挑戦し、取得することができたが、ジュニアマイスター取得者が、今年度設定されたブロンズを含めると43名となり、大きな成果を上げることができた。

また、学校独自事業予算の「インターンシップ・県内企業研修・県外企業研修の充実」事業を活用し、企業研修やインターンシップをとおして、進路決定に向けて明確な目標を持たせ、基礎学力向上を図った結果、平成30年度の就職希望者1次内定率が94%であった。

今後とも、各事業を活用して、地域産業界の期待に応えられるものづくり人材を育成したい。

※枚数任意